

鉄に親しんで～マチと人が生き返る

てつのまちぷろじえくと（室蘭市）

マスク、手袋にエプロン姿のスタッフが、小さなボルトやナットを組み合わせ、器用にねじ曲げ、ハンダ付けをしていく。またたく間に、様々なポーズの可愛らしい人形「ボルタ」が出来あがった。

小学4年生以上の子どもたちが、スタッフの指導を受けながら、見よう見まね。何とか形を整えて「やったー」。

ここは「てつのまちぷろじえくと」（川原隆幸代表）、略称「テツプロ」が室蘭市輪西町に構えるボルタ工房だ。

スタッフはパートの主婦や夜間高校の学生、企業などをリタイアした人たちなど12人。新案のポーズを次々と創造して、いまざっと100種類。

■ 魅力あふれるボルタ人形

「考えるボルタ」「サックスを吹くボルタ」「ペットに挑戦のボルタ」「ドラムをたたくボルタ」「はしゃぐボルタ」…。1個1個に手づくりの個性がある。

1個600円（室蘭市内）。「道の駅みたら」や室蘭市役所売店など28の売店で扱っ

ていて、年間4万個を販売するヒット商品だ。

テツプロは、2004年に輪西青年経営研究会の若手有志15人が中心となって結成された。家具店経営の川原代表、書店経営の塩沢尚志副代表、保険事務所経営の高桑勝利事務局長らは、いずれも30代だった。

メンバーには、室蘭工業大学大学院生、新日本製鐵室蘭製鐵所社員、室蘭市役所職員、学校教師、市会議員などもおり、多業種に及んでいる。これが強みになっている。



ボルタ工房の作業

輪西はJR室蘭駅と東室蘭駅の間位置する。かつて北海道炭鉄道が輪西製鐵所を建設、輪西は製鐵所の城下町として栄えた。1970年代の鉄鋼関連企業の「合理化」が、人口流出をもたらし、空き店舗が出るようになっていた。

テツプロ結成のこの年は、日本古来の砂鉄と木炭を使った製鐵法「たたら」の全国サミットが室蘭で開催された。「鉄を題材に、地元の我々が何かやろう」と立ち上がったのだ。結成当初の意気込みを、テツプロのホームページがいまに伝えている。

■ 鉄を愛し、触れて、食べる！

『鉄』を愛でること、触れること、加工すること、あるいはそれを食べることなど、もっと鉄と人との身近な関係があるはず。私たち『てつのまちぷろじえくと』通称『テツプロ』は、このような人と『鉄』の身近な関係に焦点をあて、それらをうまく用いながら、室蘭の街を新たに盛り上げようと集まった団体です」



愛嬌と美しさ。すべて個性が違う手づくり

■ 鉄と大学のマチの底力

室蘭工業大学の先生や新日本製鐵室蘭製鐵所の社員らもブレンとして加わった。鉄のマチ、大学のマチの底力が結集された。

まず「アイアンフェスタ」を開催した。100万円ほどの費用がかったが、メンバーが拠出、行政の補助もあって、実現した。

鉄製のオブジェのギャラリー、蹄鉄投げゲーム、鋳物のキーホルダーづくりなどが人気を集めた。以来、毎年開催している。

ボルタ人形の原型は、このアイアンフェスタから生れた。体験溶接として製作した15センチ程度のボルト人形が、観客から好評だった。5センチに小型化し、製造・販売に乗り出た。

多様なデザインは、室工大の学生たちが考案した。愛嬌のある形態が喜ばれ、マスコミにも大きく報道された。ヒット商品化した。

若い世代が作品展示イベントといった、いわばパターン化したまちおこし運動の形から、だれにでも親しまれるユニークなボルト人形づくりへと発想を一気に飛躍させた。日々「ポーズの独自性」を追求していて、1個として同じ作品はない。買い手は若い世代とは限らず「孫のプレゼントに」と買い求める年配の観光客も多い、という。

いま、製造はボルタ工房だけではなく、(NPO法人)室蘭さわやか小規模作業所

と室蘭市地域共同作業所の 2 授産所にも委託している。

ボルタ人気にあやかって、テツプロはナッティ人形の製造にも乗り出している。

ボルタを男の子、ナッティを女の子に見立てた。「ボルタとナッティ」シリーズを、新たな人気商品に育て上げる計画だ。

テツプロの活動は、これだけにとどまらない。「鉄のアート、デザイン」事業として、鉄のプロダクト・デザイン商品の開発、鉄、室蘭に関連するアーティストやデザイナーの発表機会の創出、販路開拓、鉄のアーティスト、デザイナーなど室蘭居住者のサポートなどを手がける。

「街並み創出」事業として、鉄の街の魅力を創出する空き店舗の活用、鉄の看板作りなどもやっている。

いささか風変わりなのは「アイアンフード」の開発。「良い街にはおいしいものがある」と、鉄分の多い料理を開発する試み。地元のレストランなどがアイデアを凝らした。「五穀米のリゾットとポークレバーとフィレのミルクフィーク仕立て」「冷製グリーンスープ」「鉄分たっぷりホタテもんじゃ」など、いかにも食欲をそそる献立。

「室蘭ジャズクルーズ」「夢キャンドルの会」「ぼこいふじエンターティメント」など室蘭市の各種団体との連携も積極的に進めている。

ボルタ工房は定休日（11 月～4 月：日・月曜日、5 月～10 月：月曜日）以外は毎日午前 10 時から午後 5 時まで開いているので、メンバーらがひっきりなしにやってくる。互いの情報連絡、歓談の場ともなっていて、意思の疎通がスムーズだ。

いずれNPO（非営利団体）法人を取得して、いっそう確固とした存在をめざす。すでに行政からの補助金はなく、ボルタなどの販売収益で活動しており、「テツプロ」メンバーは全て無報酬、つまりは手弁当で活動にあたっている。また、川原代表の倉庫を改造して、新たな活動の場を増設する。



愛嬌と美しさ。すべて個性が違う手づくり

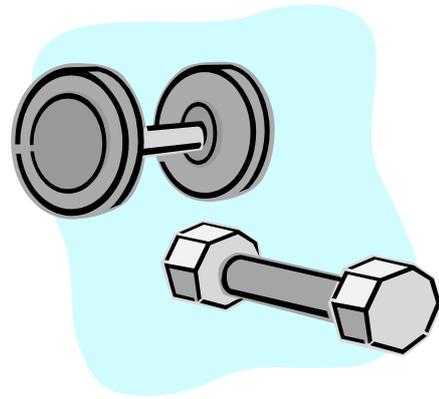
■ 夢はでっかく

ボルタ工房には時折り観光バスがやってきて、観光客がボルタづくりを見学、お土産に買い上げていく。

もっと、もっと観光バス、観光客を呼び込みたい。ボルタ工房や授産施設への製造委託などで、ささやかながら雇用の創出役を果たしてきたが、販売を伸ばせば、雇用の場も広げられる。

月に100万から150万円になる売り上げのほとんどは経費の支払いに充てられるが、鉄製の芸術品づくりに励むアーティストに活動を支える資金も提供している。室蘭のまちづくりに、ささやかながら貢献しつつある。

「いつの日にか、全国から観光客がやってくる小樽運河沿いのようなまちづくりを」。スタッフは夢の実現に向けて、一歩ずつ着実に歩もうとしている。



■ 連絡先

〒050-0085 室蘭市輪西町1丁目32番6号

てつのまちぷろじえくと・ボルタ工房

TEL/FAX : 0143-47-8233

URL : <http://www.tetsupro.com/>

営業時間 : 10:00~17:00

定休日 11月~4月 : 日・月曜日

5月~10月 : 月曜日